

## 第8回縮小社会研究会

時：2011年4月3日，13-18時，

場所：京都大学物理工学校舎 216 室，

### 1. 「人口減少と都市の縮小」馬場美智子

人口減少社会に突入し、人口増加を前提としてつくられた都市計画や土地利用制度を大転換する時期を迎えている。ドイツやアメリカの都市の縮退事例等を通して、これから縮小に向かう我が国の都市のあり方について論じた。

### 2. 「幾何級数的な人類社会の発展はいつまで続くか(エネルギー編)」中西 香

ローマクラブ報告から今年で40年、果たして成長は限界か？そしてどうなっていくのか？工業生産、資源、エネルギー、地球環境など諸相の限界ポイントと限界時期の予測を試みた。とくに、エネルギーについて論じた。

### 3. 「経費が増加する環境技術はエコか？－経費は化石燃料消費を反映する－」石田靖彦

環境技術の多くは従来技術より生涯経費が高くなる。しかし、経費がかかることと環境負荷とは無縁だろうか。特に省エネルギー技術の場合はどうか。これらの疑問を解くために経費がかかる源および、その経費のために支払われた貨幣の行方を考察し、それが究極的には化石燃料のために使われるという結論に達した。一般に行われている省エネルギー技術のライフサイクルアセスメント(LCA)にも本質的な欠陥があることがわかった。生涯経費が従来より上昇する環境技術、特に省エネルギー技術は、却って化石燃料消費を増加させている疑いが大きい。

### 4. 「原発事故1，原子力発電のしくみと電力系統の特徴」松木純也

「原発事故2，福島原発事故の放射能」末田一秀

「原発事故3，放射線障害」内海博司